

# 国際化市民フォーラム in TOKYO

## 参加申込書 (FAX 受付用)

- ▶ 参加申込方法 東京都国際交流委員会へいずれかの方法でお申込みください。
  - 下記ホームページの申込フォームに必要事項を入力の上、送信してください。

東京都国際交流委員会 

- FAX 受付：03-5294-6540
- 電話受付：03-5294-6542（平日 9：00～17：15）

- ▶ 定員になり次第、締切とさせていただきます。
- ▶ 定員を超え、お申込みをお受けできない場合はご連絡します。
- ▶ この情報は、フォーラム以外の目的には一切使用いたしません。

**締切**  
**2月12日(火)**

荒天の場合中止となることがありますので、連絡が取れる電話番号、または E-mail の記入をお願いします。

ふりがな 氏 名	所 属
-------------	-----

E-mail または TEL

\*希望分科会（参加を希望する分科会に✓をつけてください。）

### 午前分科会

1 東京における外国人相談のこれからを考えるー相談現場からの声を手がかりに  
10：00～12：30 学習室2 (3F)

2 学校と地域で支える子どもの支援  
10：00～12：30 学習室1 (2F)

### 午後分科会

3 外国人とのコミュニケーション ～日頃の意識を変えてみよう～  
13：30～16：00 学習室1 (2F)

4 子どもたちの学ぶ権利を保障するため、私たちができること  
13：30～16：00 学習室2 (3F)

事務局  
東京都国際交流委員会  
〒101-0023 千代田区神田松永町 17-15 大野ビル 3F  
TEL: 03-5294-6542  
FAX: 03-5294-6540  
URL: <http://www.tokyo-icc.jp>

# 国際化市民フォーラム

## in TOKYO

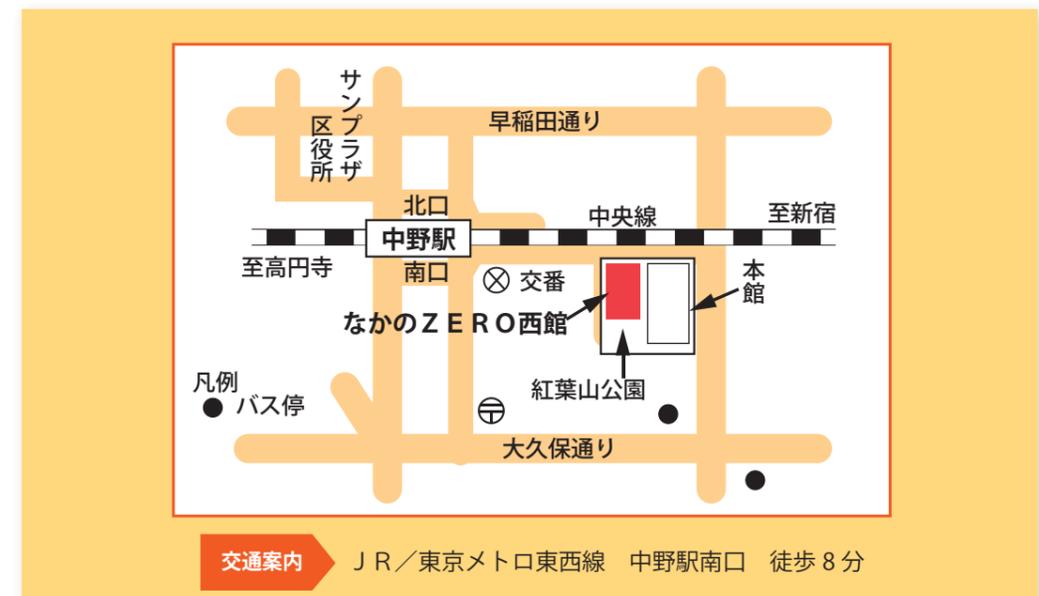


多文化共生社会を築くために

平成30年10月1日現在、都内の外国人登録者数は約54万人で全体の約3.9%を占めています。経済のグローバル化、少子高齢化が進展する中で、在住外国人の増加と定住化の傾向は今後ますます進んでいくと考えられます。

このような在住外国人を取り巻く課題や問題点、国際協力の在り方などについて、国際理解を促進し問題解決への認識を深める機会とします。

- **開催日時** 平成31年 **2月16日(土)**  
午前 1・2分科会 10：00～12：30  
午後 3・4分科会 13：30～16：00
- **開催場所** なかのZERO西館2F・3F（中野区中野 2-9-7）
- **定員** 各分科会 50名
- **申込方法** 裏面をご覧ください。
- **締切** 平成31年2月12日(火) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- **参加費** 無料



## 東京における外国人相談のこれからを考える—相談現場からの声を手がかりに

日本に暮らす外国人が今後も増加していくことは疑いようがありません。在住外国人が抱える生活全般のさまざまな問題に一義的に対応するのが「外国人相談」といわれていますが、どのような仕組みでどのような対応がされているのでしょうか。

当分科会では、外国人相談の仕組みや東京におけるネットワークのあり様などを解説したのち、外国人相談に日々向き合っている相談員から、実際の経験を基に、現場における相談の現状と課題を報告します。

相談をキーワードに、解説、報告、そして会場との意見交換を通して、外国人相談のこれからを考えていきます。

## ファシリテーター

## 「東京都内の外国人相談の今」

新居みどり氏 (特活) 国際活動市民中心 (CINGA) コーディネーター

## パネリスト①

## 「東村山市における外国人相談の現状」

杉田 理恵氏 東村山市 市民相談・交流課 多文化共生相談員

## パネリスト②

## 「教育相談の現状」

李 原翔氏 かながわあーすプラザ外国人教育相談

## 学校と地域で支える子どもの支援

外国にルーツを持つ子どもたちは母国を離れた日本の社会で懸命に生き、将来に夢を描いていますが、彼らを取り巻く状況は依然として厳しい状況にあります。日本語能力の不足による学習の遅れ、十分といえない支援体制、教育支援に関する地域格差などがそれです。子ども自身の学習面だけでなく、子どもたちの保護者も、自身の日本語能力の不足・種々の情報の伝達が行き届かないことから日本社会への十分な理解に至らず、子ども自身の問題と相俟って、彼らを取り巻く問題は山積したままとなっています。

当分科会では、幼児から小中学生までの教育にスポットをあて、全体の問題点を概観します。また、学校教育とそれ以外の支援現場から具体的な事例を紹介し、学校や地域でどのように子どもたちを支援していくことが必要か総合的に考え、参加者と共に支援活動の内容・方向を模索します。

## 基調講演

中山真理子氏 (特活) 多文化子ども自立支援センター

## 事例紹介①

薦田 庸子氏 武蔵野市国際交流協会 コーディネーター  
亀山 陽子氏 武蔵野市教育委員会・帰国外国人教育相談室職員

## 事例紹介②

米田 雅朗氏 新宿区立大久保図書館 館長

## 「やさしい日本語」ワークショップ

## 外国人とのコミュニケーション ～日頃の意識を変えてみよう～

地域にいる外国人とコミュニケーションを取るとき、いつもどんなことを意識していますか? 「英語を使わなきゃいけない」、「きちんと伝わったかな?」など、不安に思うことも多いのではないのでしょうか。そんな時に役に立つのが「やさしい日本語」です。いつもの日本語を少し工夫するだけで、外国人にもきちんと伝わりやすくなります。

当分科会では、「やさしい日本語」に言いかえる練習と、日本語の文章を「やさしい日本語」にリライトする練習をします。外国人にきちんと情報を伝えるコツを楽しみながら学びましょう!

## コーディネーター

岩田 一成氏 聖心女子大学文学部日本語日本文学科 准教授  
グローバル研究所

## 子どもたちの学ぶ権利を保障するため、私たちができること

子どもたちの学ぶ権利を保障すること。それは、海外においても日本においても最優先課題です。そして、国際社会の共通ゴールである持続可能な開発目標 (SDGs) にも掲げられているこの課題の解決には、行政だけでなく、私たち一人一人の力が不可欠です。

当分科会では、子供たちの学ぶ権利を保障する支援や、保護者・若者から大人まで地域の理解の重要性、主体的参加のあり方について考えます。

前半は、アジアとアフリカで活動を行ってきた講師のお二人に海外での事例を紹介して頂きます。後半は、前半で学んだことも踏まえてグループワークに取り組んで頂き、保護者・地域・国際社会としてできることについて考える機会にしたいと思います。

## 事例報告①

## 「アジアにおける教育支援の取り組みから」

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 海外事業部

## 事例報告②

## 「アフリカにおけるコミュニティ参加型教育協力について」

國枝 信宏氏 独立行政法人 国際協力機構 (JICA)  
国際協力専門員 (基礎教育)

## お知らせ

平成 30 年度 国連普及啓発シンポジウム

## 国際機関の仕事を目指すあなたに ～はじめの一步のキャリアガイダンス～

国際機関で仕事をしたいが、自分には難しい、ハードルが高いという不安材料を解消するためには、具体的な仕事内容やアプローチの方法などの情報収集が必要です。国際機関をもっと身近に理解していただくため、各機関で働くパネリストの方々をお迎えしてシンポジウムを開催いたします。ご興味のある方はどなたでもご参加ください。

●日 時: 平成 31 年 1 月 26 日 (土) 13:00 ~ 16:30

●会 場: 東京ウィメンズプラザホール (無料)

●申込方法

\*インターネット: [国連協会 東京都](http://www.kokunet.or.jp)  
専用の申込フォームに入力のうえ送信してください。

\*電 話: 03-5294-6542 (平日 9:00 ~ 17:15)

詳しくはホームページを是非ご覧ください。

※事前申込が必要です。  
申込締切 1 月 24 日 (木)